池北線から次期道議を

自民党本別支部総会で決議

自民党本別支部では11月26日に土橋会館でひらかれた本年度定期総会において次期道議選に本別、足寄、陸別、浦幌の四町を基盤にした地元候補を擁立することを満場一致で決議

人選については

一、党員であること

二、党活動に貢献してきたもの

を原則として四町支部のあいだで協議をすすめることになりました。

この日の総会は午前十一時から支部党員約百名が出席して、佐々孝造支部長のあいさつにつづき顧長団に松下一様、大平繁蔵、大石己之助の三氏を推して安久津清人副幹事長の活動報告を承認したあと役員改選をおこない

△支部長　佐々孝造

△副支部長　松下一様、野崎武井出利一郎、安久津清人、上原知一、熊本寅治、荒清極口卓、山下非若

△幹事長　鳥居健太郎

の各氏を決定。

この間、道議代表の西村俊一道議（広報副委員長）本名代議士代理谷井秘書、十勝連合支部古川事務局長らの祝辞、町村知事、松浦道連会長、高橋同幹事長、本名代議士、中川代議士からの祝電があり、新役員のあいさつがあつて

一、勇足地区集会所の建設促進

二、勇足駅前道路の道々昇格促進

三、本別沢ーオンネトー間道路の拡巾促進

四、本別川、利別川の改修促進

五、本別大橋の架替促進

六、本別ー白糠線道路の完成促進

七、林業構造地区指定促進

八、本別ー新得線道路の昇格促進

九、北一丁目舗装促進

十、アマ工場跡地の利用促進

十一、美栄ー拓栄間道路開発と国有林解放促進

などの事業計画を決定、明年の参議院選の勝利区では西出信一、河口陽一の両氏、全国区では若林正武氏（前林野庁長官）の推薦を決定して午後三時すぎに閉会しました。

次期道議選の問題は参議院選対策に関連して動議として出

された結果、支部としてとりくむことになつたもので、その他の動議として本別小学校の統合新築位置の問題がこの日の焦点となりました。

参会者の大多数は千名以上の児童をもつかんじんの本別小学校々下住民の意見をきかないで本別小学校に統合する下美里別やオフイビラの数十名の児童をもつ地区の意向によつてことをすすめるのはなつとくできない、教育委員会が予定している美里別西下地区に反対するわけではないが、アマ工場が閉鎖となりその跡地八万坪が解放となる現在、位置を美里別西下地区だけにかぎるべきではないという意見が圧倒的に多く支部所属町議によつてこれを町議会に反映させるとともに場合によつては支部として校下住民の与論をきくことになりました。

魚菜市場運動すすむ

本別市場側とも協議へ

魚菜卸売市場開設のため全町的な署名運動を展開している足寄町では道当局にたいして設置認可の陳情のために11月27日から出札運動にあたりました。

これには町側から小林町長、高田総務課長、谷藤課長、町議会から大津、斉藤の正副議長、期成会から鳴海副会長らが参加しました。

道側の意向としては生鮮食料品などの物価安定策の一環として中小魚菜卸市場の統合強化を推進しているさなかに市場の乱立は行政指導の方向に逆行するものとして足寄の新設には消極的な態度を示していましたが、町民大多数の要望であれば与論を無視することはできないとして陳情の趣旨を諒承しましたので、期成会としては近く十勝支庁を通じて正式に開設申請の手続きをとることになりました。

これまでの魚菜卸売市場の設置基準は消費人口が五万人、年間取扱い高が三億円以上とされていて本別市場の場合は取扱い金額は三億円を越えてはいるものの、人口は本別、足寄、陸別の三町に浦幌町の一部を加えても五万人に達しないので、この区域内にもうひとつの市場をおくことはとも倒れの危険性があり、とても認可の対象になるものではないとされていた上に、農林省ではさいきんになつて消費人口は十五万人に引き上げようとしています。

それは生鮮食料品の価格を安定させるために魚菜などの出廻り期の安いときに市場が大量に仕入れておけるコールド・チエーンの施設をもてるような大市場にするのでなければ消費者へのサービスは期せられないとして、本別や池田の市場は帯広へ統合することを道が指導しているほどですが、統合はなかなか困難であるためにせめて新設は押えてゆこうというのが国や道の方針のようです。

しかも本別の現市場は狭く駐車場もないので道の融資割当をうけて明年は二キロほど足寄側へよつた地点へ移転新築した上でセリ免許者が四名いるのでセリを二部、三部制にしてスピード化をはかり市場運営を改善しようとしているので、このさい足寄に新設するというよりも本別側と話し合つて移転新築の位置を三町の中央にあたる足寄にできればとの意見も道にあるようです。

どちらにしても近接市場が同意しなければ市場開設の認可は難しいので期成会としては近く本別市場側との話しあいに入るものとみられますが、たまたま移転新築の時期にあたり公益事業とはいえ株式会社で足寄や陸別にも株主がいての市場競合のなりゆきが注目されています。

とかち新聞社　主筆　松山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話1361番
本紙定価　1部20円　1カ月60円　1カ年前約500円

次期道議選に一石

昭和三十四年に足寄が結束すれば党に貢献のあつたものとなればおのずから網羅がせばめられてくる

○…岡崎光三氏の場合のように党の公認が得られて、三町のなかでただひとりの立起ともなれば、地元層で協力結束のお眼目が唱えられ易く当選の可能性がある選挙だけに、これからの三町間での人選作業のなりゆきが注目されます。

○…二十六日の自民党本別支部総会でいらはやく候補を制した形で三年後の次期道議選にたいして一石を投じました。

○…十勝管内の現道議は自民党の堀出毅、朝日昇、石畑久成の三氏に社会党の桜部勇蔵、藤村耕雄の二氏で、このうち堀田、石畑、桜部、藤村の四氏は次期も大体出馬するものとみられていますが、新顔の四氏は次期も大体出馬するものとみられていますが、

○…この日の総会は午前十一時から支部党員約百名が出席して、佐々孝造支部長のあいさつにつづき顧長団に松下一様、大平繁蔵、大石

○…かりに朝日氏が再出馬するにしても本別、足寄、陸別三町の保守層が結束すれば

○…もの言はぬ三氏が、わけで、それぞれの支部の意向が全面ひらいたようまとまつて三町一本化の体制が

○…何故、準事を問わず地元議員が

○…もの言はぬ三氏が、

○…二十六日の自民党本別支部総会でいらはやく候補を制した形で三年後の次期道議選にたいして一石を投じました。

○…十勝管内の現道議は自民党の堀出毅、朝日昇、石畑久成の三氏に社会党の桜部勇蔵、藤村耕雄の二氏で、このうち堀田、石畑、桜部、藤村の四氏は次期も大体出馬するものとみられていますが、

○…もの言はぬ三氏が、

新型チエンソー　特売！
新品
西独製スチール　各機種
米国製マツカラー　各機種
米国製ポーラン　各機種
国産　共立　各機種
製材工場
小型電動チエンソー
中古品格安
スチールライトニング　3台
スチールアルコン　2台
スチーコニール　2台
マツカラー740型　1台
マツカラー151型　1台
パイオニヤー型7馬力　1台
電動チエンソー　2台
釜戸ガツチヤ、札幌ガツチヤ　自動車用、馬追用
音別商外各有絵品　チエン各機種値下げ
ロデツクス消火器一代理店
有限会社　鈴木鋸刃物店　足寄町大通り　電話307番

技術に生きる！
世界の　ビクター　マーク
レコード　ステレオ
ラジオ　テレビ
ーあらゆる電気器具ー
有限会社　ミネ・デンキ
足寄劇場前　電話142番

近代住宅に新建材！
家具　建具　製造　各種サツシ施工
各種建築資材
新築　改築に御相談下さい！
桜井建具店
足寄町北五区　電話362番